

6章

計画の達成状況の評価

6章 計画の達成状況の評価

(1) 目標の達成状況や社会情勢の変化に伴う計画の見直し

「北茨城市地域公共交通計画」の推進に当たり、交通事業者の運転手の高齢化や担い手の不足などにより、公共交通ネットワークの維持・確保が困難な状況にある中で、今後、人口減少社会における交通事業者の生産性の向上へ向けた移動の仕組みや、自動運転などの先進技術の開発など「人の移動」に関する社会情勢は大きく変革することが予想されます。

このため、社会情勢を踏まえ、目標の達成状況や利用状況などを評価し、必要に応じて見直し改善する「PDCAサイクル」の仕組みにより、進行管理を実施し目標の達成を目指します。

本計画のPDCAサイクルの実行は、「北茨城市地域公共交通会議」において実施し、施策に係る関係者（市民、交通事業者、行政など）が施策効果の検証結果を共有します。

なお、評価・検証については「毎年実施するPDCAサイクル」と、「計画の中間年度及び最終年度に実施する目標達成度に対するPDCAサイクル」による二重の組み合わせで進行管理を行います。

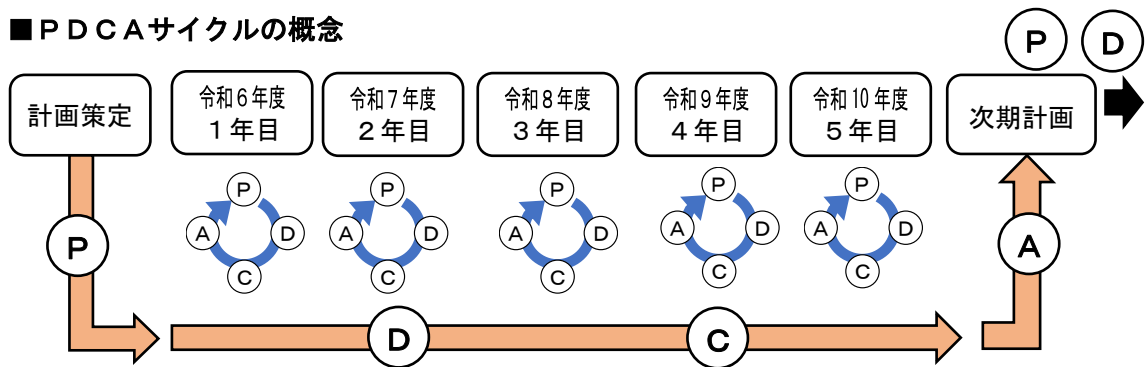
○事業実施状況の評価（年に1回実施）

公共交通への取り組みや運行状況について、事業実施状況の評価を毎年度実施します。

○目標達成度の評価（計画期間最終年度に実施）

計画の目標値との比較により、事業の達成状況を検証します。ただし、公共交通の利用ニーズや利便性は、主な目的地である商業施設・病院などの整備、道路改良などのハード整備による周辺状況の変化に影響を受けやすいため、利用状況やニーズなどを把握・分析し、必要に応じて見直し・改善を図ります。

■PDCAサイクルの概念



■各PDCAサイクルの概要

項目	事業実施状況の評価	目標達成度の評価
P（計画）	各路線などの運行計画の策定 各種施策の検討	北茨城市地域公共交通計画の策定
D（実行）	地域公共交通の運行 各種施策の実施	計画に掲げる各種施策の実施
C（評価）	運行・利用状況の評価 施策実施効果の評価	各種施策の実行による効果 （目標値の達成状況）の評価
A（改善）	運行の見直し 各種施策の見直し	北茨城市地域公共交通計画の見直しの 検討

(2) 評価の方法及びスケジュール

計画期間におけるP D C Aサイクルの具体的なスケジュールと検証するための調査概要は、次のとおりとします。

本計画の評価は、最終年度（令和10年度）に事業者から提供された利用実績や各種アンケート調査などから、計画及び公共交通ネットワークの評価を実施し、実施事業の見直し及び新たな事業を追加し、次期計画を策定します。

公共交通機関の利用状況や本計画に定めた事業の実施結果に関する評価については、毎年度実施するものとします。

■評価スケジュール

(年度)

項目		令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
関連調査 評価方法	利用者数実績・整理	○	○	○	○	○
	市民アンケート調査				○	
	公共交通				○	
	利用者アンケート調査				○	
事業実施状況の評価		○	○	○	○	○
目標達成度の評価						○
計画・目標値の見直し※						○
北茨城市地域公共交通会議の開催		○	○	○	○	○

※必要に応じてアンケート調査などを行い、適宜、計画・目標値の見直しを実施

